

「情報処理」シラバス

学科	商業科	学年	1年	類型	/	組	5組	単位数	3
使用教科書	最新情報処理 Advanced Computing (実教出版)								
副教材等	学習と検定全商情報処理検定テキスト3級 (実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集2級ビジネス情報 (実教出版) 全商ビジネス文書実務検定試験模擬問題集1級 (実教出版)								

1 学習の到達目標

- ① 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成する。
- ② ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	(4)(5)(6)(7)(8)(9)
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしているか。	(3)(4)(5)(7)(8)(9)
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(8)(9)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)単元ごとに自己評価を実施 (2)グループ学習の状況	
自己評価シート	(3)実習課題提出時に実施	
課題	(4)2、3学期初めの課題提出時に実施	
ペーパーテスト	(5)定期考査 (6)単元テスト (7)小テスト	
検定試験	(8)全商ビジネス文書実務検定試験 (9)情報処理検定試験ビジネス情報	

